

NaViset Administrator 2 使用事例

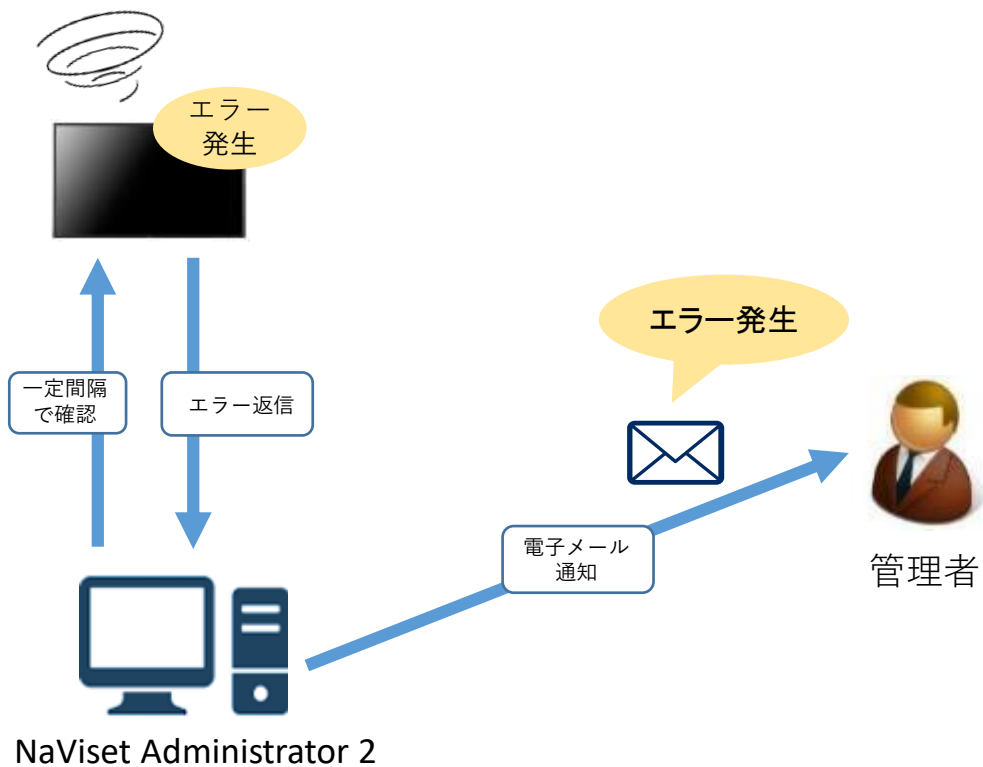
**機器が異常を起こした際に
電子メールで通知する**

概要

パブリックディスプレイやプロジェクターが自己診断エラーを起こした際に管理者に電子メールで通知します。

本機能に対応している製品

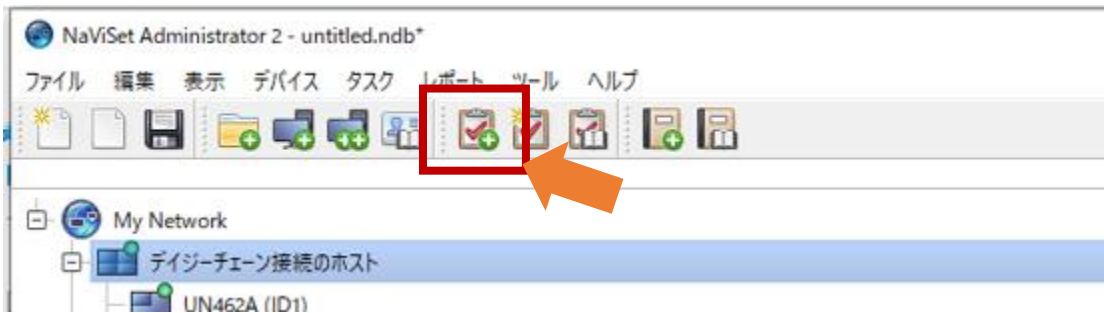
- 当社製パブリックディスプレイ
- 当社製プロジェクター



電子メール送付のためには、事前設定が必要になります。
設定方法につきましては、
別紙手順書「通知メール設定」をご確認ください。

1. 基本情報設定

- (1) ツールバーの「新しいタスク」ボタンをクリックして新規のタスクを作成します。



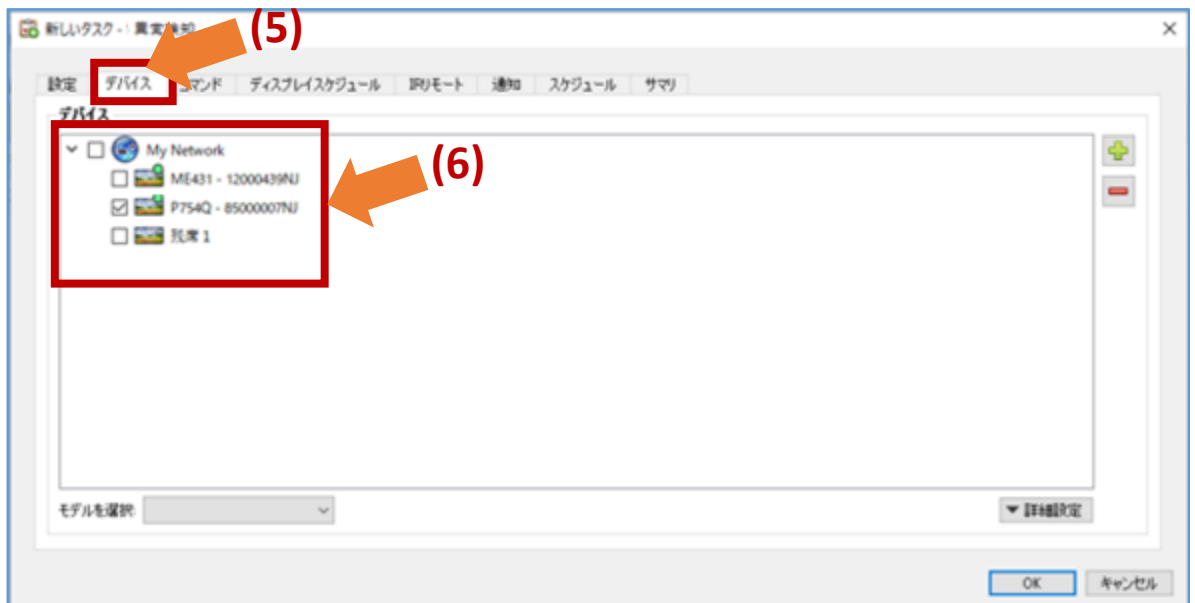
- (2) 何をするタスクかわかるように「名前」と「説明」を入力します。
- (3) 「タスクの種類」で「条件付き」を選択します。
- (4) 「1回のみポーリング」を選択します。



2. 状態確認を行う対象機器の選択

(5) 「デバイス」タブをクリックします。

(6) 状態確認したい機器のチェックボックスにチェックを入れます。



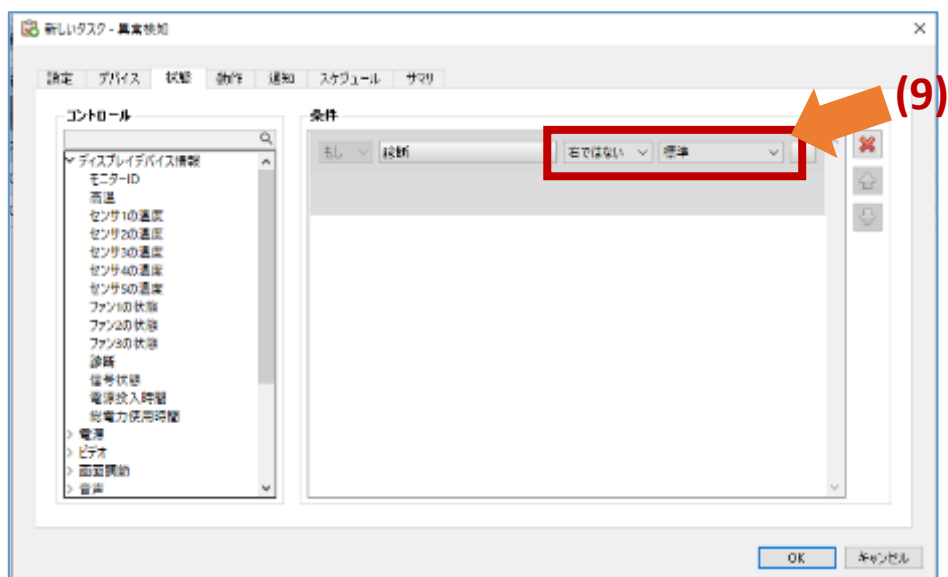
3. 条件の作成

(7) 「状態」タブをクリックします。

(8) 「ディスプレイデバイス情報」 - 「診断」をダブルクリックします。



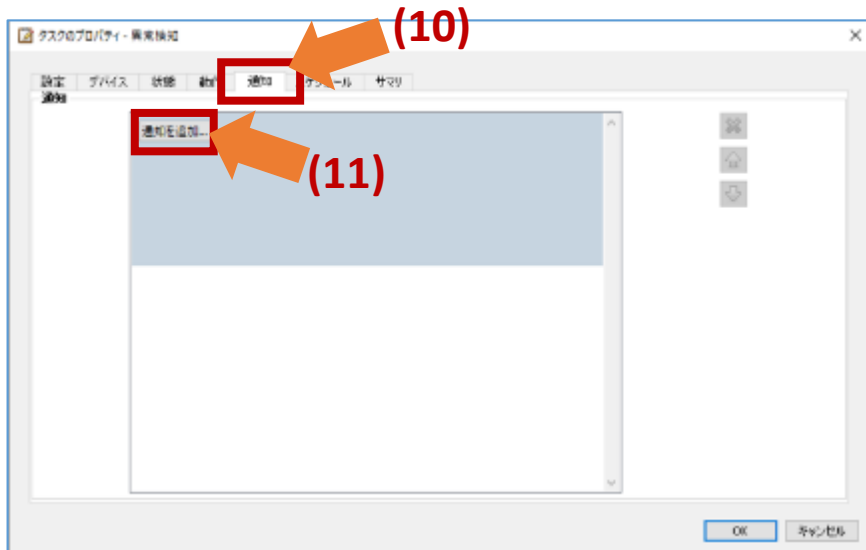
(9) 「条件」に「右ではない」、「標準」を選択します。



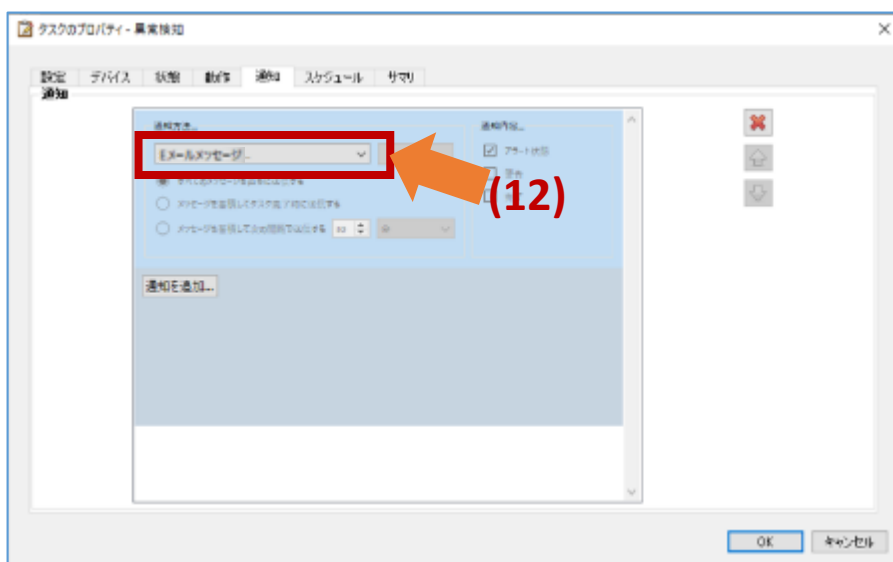
4. 通知メールの設定

(10) 「通知」タブをクリックします。

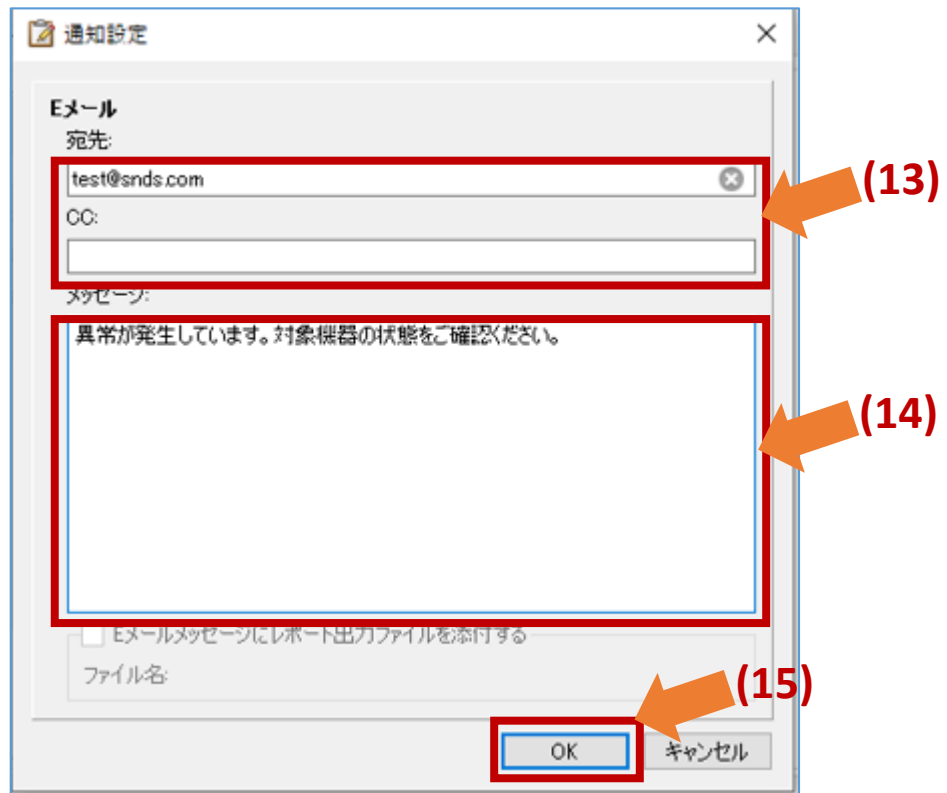
(11) 「通知を追加…」をクリックします。



(12) 「通知方法」の「通知の種類を選択する…」で「Eメールメッセージ」を選択します。「通知設定」のダイアログが開きます。

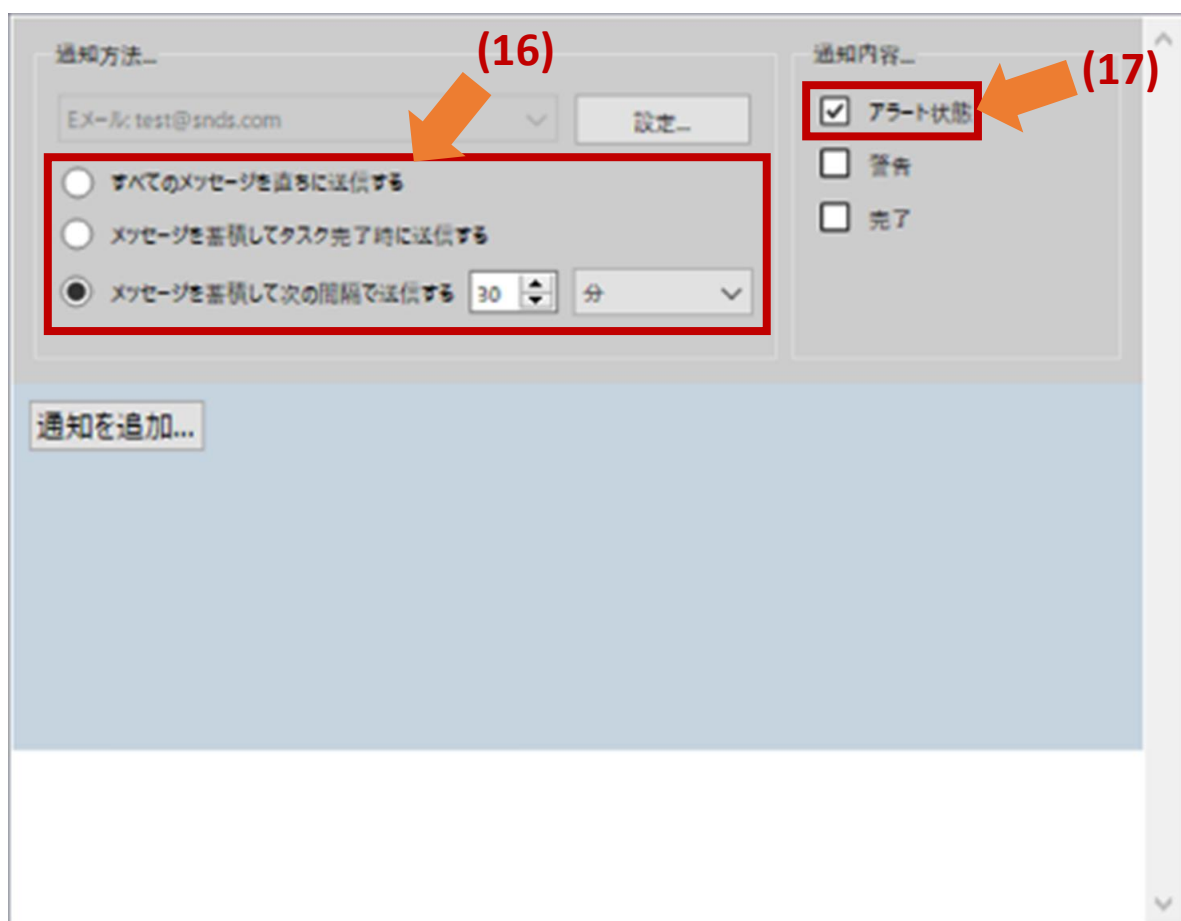


- (13) 「宛先」「CC」欄にメールの送付先を記載します。
タブをクリックします。
- (14) 「メッセージ」欄に電子メールの内容を記入します。
- (15) 「OK」を押します。



(16)メッセージを送信するタイミングを選択します。
ポーリング間隔ごとの煩雑なエラーメール通知を避けるため、「メッセージを蓄積して次の間隔で送信する」を選択することを推奨します。

(17)「通知内容...」で「アラート状態」を選択します。



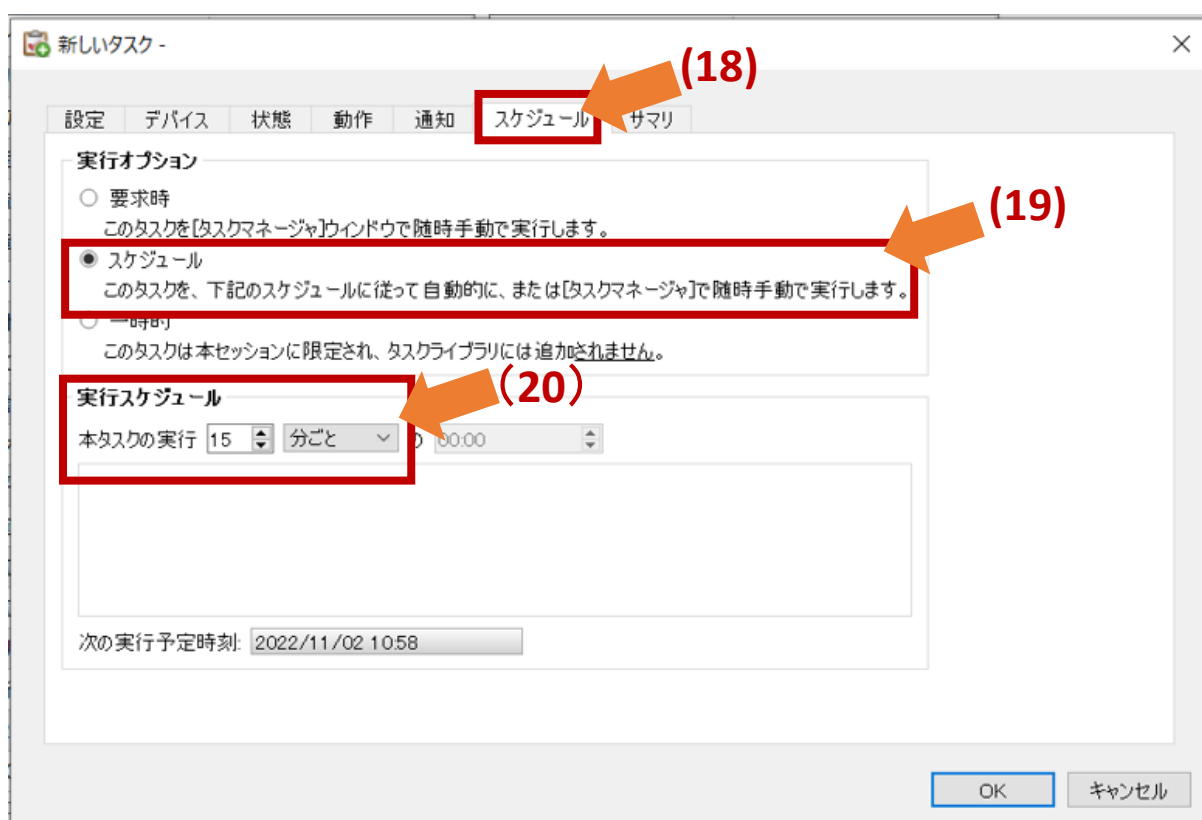
5. スケジュールの設定

(18)スケジュールタブをクリックします。

(19)「実行オプション」で「スケジュール」を選択します。

(20)「実行スケジュール」の「本タスクの実行」で実行する時間の間隔を設定します。
(下の画面例では「15分ごと」としています。)

注：前の確認作業が終わらないうちに次の確認が始まるとエラーになるため、時間間隔は余裕を持って設定して下さい。



6. 設定内容の確認

(21) 「サマリ」タブをクリックします。

(22) タスクの設定を確認し、「OK」をクリックします。

